

自由民主党・仙台

菅原 健 議員

問 本市の防災集団移転事業計画は、7割の居住者からの申出書を踏まえて策定されたものだ。3割の未提出者や変更希望者にごう対応するの。また、事業計画の最終確定時期、跡地買い上げや移転先の確保はいつごろになるの、今後の見通しを伺う。

答 事業計画は、未提出者も含

めた全体の事業規模を想定し策定している。未提出者には個別相談を通じ、きめ細かく対応し、変更希望者には一定の期限を設けて変更希望を受け付けるなど、必要に応じ計画を変更し、できる限り希望の移転先を確保するよう取り組む。今後は、今年中に変更事業計画を策定し、跡地の買い取りを今年度末ごろから実施し、移転先の確保についても順次進めていく。

問 復興公営住宅入居者への支援

答 本市の復興公営住宅家賃は

民間より低廉な設定であり、さらに国の家賃低減事業の活用や制度拡充も含め、家賃負担の軽減について対応を検討してまいりたい。

その他の主な質疑項目

- 復興に向けた市長の覚悟
- 復興交付金の第2次配分結果等
- 宅地被害への対応
- 仮設住宅入居者の見守り等
- 被災中小企業の経営再建への支援
- 被災地域農業復興総合支援事業

復興仙台

跡部 薫 議員

問 大規模災害に対しては「公助」「共助」だけでは限界がある。まず、地域防災の基礎となる「自助」が重要であり、自助力の必要性が、しっかりと根付くよう取り組むべきと考えるがいかが。

答 災害時には、自らの命は自らが守るという意識を持ち、飲料水や食料を備蓄する等の「自助」



東日本大震災を踏まえた避難所運営訓練
(6月12日仙台市総合防災訓練)

答 「東北ろっけんパーク」や中心部商店街への支援を継続すること、中心市街地のぎわいが東北各地に波及するよう努めたい。

その他の主な質疑項目

- 市長任期残り1年の所信と決意
- 仙台国際ハーフマラソン大会の成果と次年度に向けた抱負
- 復興財源の確保と行財政改革
- 大都市制度「特別自治市」について市民への丁寧な説明を
- エコモデルタウンプロジェクト
- 農と食のフロンティア特区
- がれき処理の進捗状況と他自治体のがれき受け入れ

市民フォーラム 仙台

小野寺 健 議員

問 全国で登下校時の交通事故が相次いでいる。急ぎ通学路を点検し、関係部局で連携し問題を整理して適切に対処すべきではないか。所見を伺う。

答 保護者や地域の協力のもと通学路の安全点検を行い、警察等の関係機関に要望や相談を行ってきた。今後とも、関係機関と連携



通学路の安全対策を早急に行うべき

問 財政健全化に向け、公的不動産の有効活用・最適化を図るべき。PRE戦略の導入と公共施設白書の作成を求めるがいかが。

答 仙台市基本計画に公共施設

改革を掲げ、組織横断的に検討を進めてきた。震災被害による施設被害状況も踏まえつつ、具体的な取り組みにつなげていきたい。

その他の主な質疑項目

- 復興交付金の第2次配分で採択が見送られた宅地復旧などの支援策について他の自治体と連携し引き続き採択を目指すべき
- みなし仮設住宅の期間延長を県と連携し取り組むべき
- 今年度、仮庁舎の賃借費用に約4億円かかっている。市庁舎全体のあり方について考えるべき
- 仮に塩釜・松島と隣接地に水族館がある場合、出資して誘致を行うことに市民の理解が得られるのか。塩釜市に建設されるのであれば支援してもよいのでは
- 生活保護制度への信頼が揺らいでいる。公平・公正な対応を。○泉岳自然ふれあい館について

公明党

小野寺 利裕 議員

問 復興の実施計画を4年としている中で、用地買収の難航による計画の遅れや、民間との労務単価の開き、資材高騰等の問題で復興に影響はないのか伺う。

答 実施計画は、4年間に、国や県の整備事業も視野に入れて推進する総合的な計画である。特に東部地域では、さまざまな事業が



雇用の本格的な回復を図るため、特区制度を活用した雇用創出策を

代表質疑

本党 日共産党

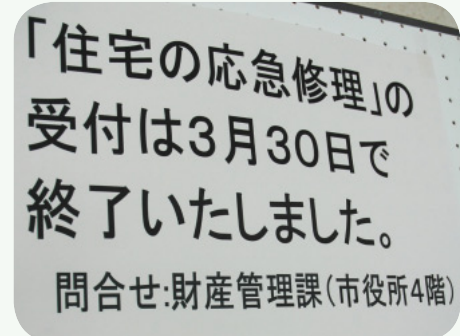
高見 のり子 議員

問 国は市が復興交付金に申請した宅地再建事業等の独自支援策を不採択とした。国に対し、断固として採択するよう求めるべき。

答 国に対し、これまで当該事業の必要性を丁寧に説明してきたが、「個人資産の形成に資する等の事業」に該当するとの見解から認定が得られていない。今後は本

問 住宅応急修理制度の受付再開を

答 受付の終了に当たっては、市政だより等で申込終了期限を周知することにより、被災証明の判定結果がまだの方には仮申し込みを認める措置を講じるなど、極力被災者の救済に努めてきたところであり、受付再開は考えていない。さかのぼって適用することについても、受付に際し可能な限り柔軟に対応してきたことから、本市独



受付再開が強く望まれている住宅応急修理制度

社民党

相沢 和紀 議員

問 被災した東部地区のほ場整備計画が進められているが、防災集団移転用地や県道かさ上げ用地の取得にあたってはスピード等を重視し、直接買収方式で行うべき。

答 用地取得については、ほ場整備事業の中で確保した用地を取得する手法と、土地所有者から直接取得する手法の二つがあるが、



六郷地区の防災集団移転先の計画図

現在、地元農業者や関係機関の意見をいたしながら、探るべき手法について検討している。より地元の理解が得られ、また確実に用地取得ができる手法を6月末を目途に決定したい。

問 復旧は進んでいるが、復興への取り組みは弱い。復興事業、特に県道塩釜亘理線等の進捗状況と今後のスケジュールを伺う。

答 各種都市インフラの復旧やがれき撤去等はおおむね順調に進んでいる一方、復興事業については財源が確保できたため、今年度後半に具体の工事に着手できる状況になった。県道のかさ上げ工事については、今年度は基本設計、測量調査を行う予定である。来

常任委員会 審議の概要

平成24年6月20日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣にまこめて記載しています。

また、各議案名は、4面の会派別議案賛否一覧表をご覧ください。（○は付託議案に対する賛疑項目）

総務財政委員会

(第99・103・114・117号)

付託された4議案のうち、第99号議案は賛成多数で、その他3議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○エコモデルタウン事業の事業費について

○復興特区における税の軽減措置

市民教育委員会

(第99・102・104・106・111号)

付託された6議案のうち、第99号議案および第102号議案は賛成多数で、その他4議案については全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○現在の泉岳少年自然の家に代わる泉岳自然ふれあい館について

○外国人の住民登録について

健康福祉委員会

(第99・107・108・112・議第4号)

付託された5議案のうち、議第4号は賛成少数により本会議で否決すべきものと決定し、その他4議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○鶴ヶ谷地区の児童館整備

○住宅の応急修理制度の役割と受付再開について

経済環境委員会

(第99・101・109号)

付託された3議案のうち、第99号議案は賛成多数で、その他2議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

○エコモデルタウン事業

○被災地域農業復興総合支援事業

○被災中小企業に対する本市の利子補給制度の拡充

都市整備建設委員会

(第99・100・110・113・117・議第3号)

付託された6議案のうち、第100号議案は賛成多数で、第99号議案、第110号議案、第113号議案および第117号議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定し、議第3号は賛成少数で本会議において否決すべきものと決定しました。

議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会（5月23日開催）において、次の議員が表彰されました。

○特別表彰（議員在職25年以上）

鈴木 繁雄
小山 勇朗
渡辺 公一

意見書

《可決された意見書》

意見書第2号
東日本大震災からの一日も早い復旧・復興に向けた支援拡充を求める件
意見書第3号
後期高齢者医療制度等の減免対象期間の延長を求める件

可決した意見書は、国会および関係行政に提出しました。

市議会を傍聴してみませんか

仙台市議会の本会議および委員会等については、どなたでも簡単な手続きで傍聴することができま。議会開催日当日、議事堂までお越しください。

また、市議会では、議会テレビ中継を市役所本庁舎市民のへや、各区役所・総合支所ロビーにおいて行っています。放映時間は午後1時から5時までです。ぜひご覧ください。

お問い合わせ先

〈傍聴〉 議会事務局庶務課
TEL 214・6164

〈議会中継〉 議会事務局調査課
TEL 214・6169

用語解説

●エコモデルタウン（注1）
1面6段、2面6段、3面1段3面3段
再生可能エネルギーなどの活用により、特定のエネルギーに過度に依存せず、かつエネルギー効率の高い、非常時にも安心な都市づくりを行うエコプロジェクト。

●PRE戦略（注2）（2面2段）
PREは、パブリック・リアル・エースト（Public Real Estate）の略。公的不動産を財政運営の観点から効率的に管理、運用する取り組み。

●絆支援員（注3）（4面3段）
本市とNPOが協働で実施している「安心見守り協働事業」で、安否確認の訪問、支援策の情報提供、各種相談等を行い、仮設住宅居住者の生活面をサポートする支援員。